

社員に笑顔

社員一人ひとりが笑顔で活躍できる職場づくり

社員一人ひとりが主役となり、笑顔で活躍できる組織を目指します。

関連するSDGs



ダイバーシティ勉強会
2017年度実施回数

79回



人材育成の取り組み

東洋水産グループにとって、社員教育は重要な経営課題と捉え、社員の成長を支援する制度を整えています。組織上の役割・期待に応じて求められる能力や意識の向上を図る「集合型研修・勉強会」や、成長意欲の高い社員の能力開発を支援するための自己啓発制度を充実させ、将来の東洋水産グループを担う人材の育成に取り組んでいます。

多様な人材の活用

▶ 甲府東洋 (株)

甲府東洋 (株) では、製造機械のオペレーション業務に女性の担当者を増やす等、ダイバーシティへの取り組みや技術の進歩に合わせて、年齢や性別等によらず、個人の能力を十分に生かせる、多様な人材の登用を進めています。こうした取り組みにより、繊細な技術を必要とする機械の操作だけでなく、製造ラインのわずかな変化に敏感に反応してリスクを未然に防いだり、ライン周辺の整理整頓など、職場の改善につながっています。

知識や経験を生かしてより良い商品を作る

現在はフリーズドライ商品の製造ラインのオペレーターを担当しています。これまで即席麺をはじめとする様々な部門で得た知識や経験を生かして、一食一食を大切に、お客さまに安全・安心な商品をお届けできるように、これからもスキルアップしていきたいと思えます。



甲府東洋 (株) 村野 由起



ダイバーシティ勉強会の実施 ▶ダイバーシティ推進室

社員一人ひとりの能力を最大限に発揮することを目的に、ダイバーシティを推進しています。2017年度の取り組みの一つとして、ダイバーシティに対する理解と意識の醸成を図るための勉強会を実施しました。今後も人材の多様性を生かし、誰もが活躍できる職場を目指して、制度の拡充や啓蒙活動を行います。



ダイバーシティ勉強会



運動会開会式の様子

TSグループ大運動会の実施

国内の全事業所が参加する「TSグループ大運動会」を毎年10月に開催しています。2017年度は、敷地内にグラウンドを有する関東工場ですべて実施しました。小雨が降る中での開催となりましたが、全国より全16チーム、約1,700人の社員や家族、OBが参加し、親睦を深めました。

納涼祭の実施

社員やそのご家族、近隣の地域にお住まいの方々をお招きして、主に全国の工場で、毎年納涼祭を行っています。ユタカフーズ (株) では2017年7月に開催し、1,000人を超える方々に来場いただきました。会場では社員による焼そばなどの模擬店に長い列ができ、恒例の盆踊りでは大きな輪が広がりました。



ユタカフーズ (株) での納涼祭

オリジナルDVDを用いた安全教育 ▶ 焼津工場

焼津工場では、工場内で事故が発生する可能性のある箇所をまとめたオリジナルDVDを作成し、新規に雇用した社員を対象に、安全教育を行っています。映像によって理解を深めることで、事故の未然防止に役立っています。社員が安心して働ける職場づくりと、将来にわたる労災事故ゼロを目指し、今後も安全への取り組みを強化していきます。



新入社員への安全教育



小集団活動による危険箇所の確認・共有

小集団活動による職場改善 ▶ フクシマフーズ (株)

フクシマフーズ (株) では、労災事故ゼロを目指し、製造ラインの担当者が中心となって、ヒヤリ・ハットの危険性のある箇所を指摘し、改善していく活動を各課ごとに小集団で行っています。また、その結果を安全衛生委員会に報告し、会社全体で共有しています。

ウォーキングイベントの開催 ▶ 健康保険組合

健康保険組合では、社員の笑顔と心身の健康保持・増進を目的とし、2ヶ月間の歩数を個人戦とチーム戦で競うウォーキングイベントを行い、2017年度は245人が参加しました。ウォーキングイベントを通じ、健康面だけでなく、コミュニケーションの向上等、様々な効果が期待されるため、今後も継続します。



ウォーキングイベント参加中に撮影